

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月14日

【四半期会計期間】 第38期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 株式会社免疫生物研究所

【英訳名】 Immuno-Biological Laboratories Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 清藤 勉

【本店の所在の場所】 群馬県藤岡市中字東田1091番地1

【電話番号】 0274-22-2889 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役事業グループ管理本部長 中川 正人

【最寄りの連絡場所】 群馬県藤岡市中字東田1091番地1

【電話番号】 0274-22-2889 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役事業グループ管理本部長 中川 正人

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第1四半期 連結累計期間	第38期 第1四半期 連結累計期間	第37期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	171,780	113,323	781,215
経常損失 ( ) (千円)	35,624	127,850	155,747
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純損失 ( ) (千円)	44,717	124,603	167,319
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	44,717	124,603	167,319
純資産額 (千円)	2,042,486	2,021,159	2,145,763
総資産額 (千円)	3,192,765	2,802,656	2,988,314
1株当たり四半期(当期)純損失 ( ) (円)	5.31	14.28	19.82
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	63.8	72.0	71.7

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 前第1四半期連結累計期間、当第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失であるため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、診断・試薬事業における売上高の落ち込みが大きく影響し、売上高は113,323千円（前年同期比34.0%減）となりました。利益面においては、遺伝子組換えカイコ事業での抗HIV抗体をはじめとするバイオ医薬品開発の研究の進捗に伴い研究開発費が増加しております。その結果、営業損失は104,480千円（前年同期は35,971千円の営業損失）となりました。また、営業外損益につきましては、連結会計年度に関連会社としました株式会社CUREDの持分法による投資損失19,947千円を計上したこと等により経常損失は127,850千円（前年同期は35,624千円の経常損失）となりました。特別損益につきましては前述の株式会社CUREDの持分割合の変動により持分変動利益4,390千円が発生しております。その結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は124,603千円（前年同期は44,717千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ・診断・試薬事業

研究用試薬関連につきましては、抗体製品及び試薬受託の売上はほぼ前年並みを維持しておりますが、主力のEIAキット販売におきまして、前期末の駆け込み需要の影響等により、国内、海外ともに前年同期と比較すると減少しております。また、医薬用関連につきましては、主力である動物用体外診断用医薬品の牛海綿状脳症測定キット（BSEキット）の需要縮小による減収の影響が大きく出ております。

その結果、当セグメントの売上高は88,002千円（前年同期比35.0%減）、営業損失は19,467千円（前年同期は15,795千円の営業利益）となりました。

#### ・遺伝子組換えカイコ事業

当事業においては、各種抗体等の売上が計上されました。当事業においては現段階においては、遺伝子組換えカイコを用いた医薬品製造を実現させるべく、前期に引き続き抗HIV抗体をはじめとするバイオ医薬品開発、ならびに、その製造技術の開発を進めているところであり、事業の重点を研究開発に置いております。

その結果、当セグメントの売上高は6,090千円（前年同期比56.6%増）、営業損失は74,723千円（前年同期は48,136千円の営業損失）となりました。

なお、薬効・薬理試験の成果については、現在、試験結果を纏めており、2020年3月期上期中の開示を目指しております。

#### ・検査事業

当事業においては、主力事業の血中リポタンパク質プロファイリングサービス「LipoSEARCH」において、前期に受注した大型案件の影響が大きく、前年同期と比較して売上が減少しております。一方で、動物向けサービスの「LipoTEST」においてはほぼ前年並みの売上を維持しております。主要顧客である国内製薬企業、食品企業への継続的なアプローチ、ELISA測定受託サービスの拡販、自由診療領域への展開、海外導出に向けた取り組み等に注力しております。

その結果、当セグメントの売上高は17,960千円（前年同期比42.7%減）、営業損失は5,804千円（前年同期は1,140千円の営業損失）となりました。

#### ・化粧品関連事業

当事業においては、「ネオシルク - ヒト型コラーゲン」配合化粧品「フレヴァン」シリーズの売上高につきまして、国内通信販売の売上が前年同期とほぼ同様の売上となりました。

その結果、当セグメントの売上高は1,998千円、（前年同期比1.7%減）、営業損失は4,724千円（前年同期は2,729千円の営業損失）となりました。

なお、現在中国での販売再開の準備を進めております。

財政状況につきましては、次のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比6.2%減の2,802,656千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

受取手形及び売掛金が104,310千円減少したこと、現金及び預金が75,820千円減少したこと、及び投資有価証券が15,557千円減少したこと等によるものであります。受取手形及び売掛金の減少につきましては、前第4四半期連結会計期間の売上と比較して当第1四半期連結会計期間の売上が減少したことによるもの、現金及び預金の減少につきましては当第1四半期連結累計期間において親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと等により収入より支出が多かったことや、借入金の返済や法人税等税金納付等によるもの、投資有価証券の減少につきましては、持分法適用関連会社の投資損失等の計上によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は前連結会計年度末比7.2%減少し、781,496千円となりました。この主な要因は借入金の返済により、1年内返済予定長期借入金及び長期借入金が36,522千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末比5.8%減少し、2,021,159千円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により繰越利益剰余金が124,603千円減少したことによるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は65,845千円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,724,590	8,724,590	東京証券取引所 JASDAQ (グロ-ス)	単元株式数100株 完全議決権株式であり、権利内 容に何ら限定のない当社におけ る標準となる株式
計	8,724,590	8,724,590		

(注) 提出日現在発行数には、2019年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日		8,724,590		2,792,510		1,824,890

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,719,800	87,198	単元株式数100株 権利内容に何ら限定のない当社における 標準となる株式
単元未満株式	普通株式 3,690		
発行済株式総数	8,724,590		
総株主の議決権		87,198	

(注) 「単元未満株式」には自己株式が30株含まれております。

## 【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己所有株式) 株式会社免疫生物研究所	群馬県藤岡市中字東田 1091番地1	1,100		1,100	0.01
計	-	1,100		1,100	0.01

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,543,966	1,468,145
受取手形及び売掛金	208,985	104,674
商品及び製品	91,509	93,648
仕掛品	127,215	130,070
原材料及び貯蔵品	118,769	126,941
その他	21,332	14,421
流動資産合計	2,111,776	1,937,900
固定資産		
有形固定資産		
土地	114,019	113,781
有形固定資産合計	114,019	113,781
投資その他の資産		
投資有価証券	686,555	670,997
繰延税金資産	4,437	4,437
その他	71,525	75,538
投資その他の資産合計	762,517	750,973
固定資産合計	876,537	864,755
資産合計	2,988,314	2,802,656
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,784	5,640
1年内返済予定の長期借入金	108,956	88,934
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	277,704	277,704
賞与引当金	18,189	10,333
その他	140,787	123,355
流動負債合計	550,422	505,968
固定負債		
長期借入金	86,000	69,500
転換社債型新株予約権付社債	200,000	200,000
退職給付に係る負債	6,128	6,028
固定負債合計	292,128	275,528
負債合計	842,550	781,496
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,792,510	2,792,510
資本剰余金	1,824,890	1,824,890
利益剰余金	2,474,056	2,598,660
自己株式	1,990	1,990
株主資本合計	2,141,355	2,016,751
新株予約権	4,408	4,408
純資産合計	2,145,763	2,021,159
負債純資産合計	2,988,314	2,802,656



## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	171,780	113,323
売上原価	74,049	62,522
売上総利益	97,730	50,801
販売費及び一般管理費	133,702	155,282
営業損失( )	35,971	104,480
営業外収益		
受取利息	1	1
為替差益	2,303	
還付加算金		59
保険事務手数料	71	79
その他	55	36
営業外収益合計	2,431	176
営業外費用		
支払利息	369	267
為替差損		2,377
新株発行費	1,695	954
持分法による投資損失		19,947
その他	20	
営業外費用合計	2,085	23,546
経常損失( )	35,624	127,850
特別利益		
持分変動利益		4,390
特別利益合計		4,390
特別損失		
減損損失	8,255	237
特別損失合計	8,255	237
税金等調整前四半期純損失( )	43,879	123,698
法人税、住民税及び事業税	837	905
法人税等合計	837	905
四半期純損失( )	44,717	124,603
親会社株主に帰属する四半期純損失( )	44,717	124,603

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純損失( )	44,717	124,603
四半期包括利益	44,717	124,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,717	124,603
非支配株主に係る四半期包括利益		

【注記事項】

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) のれんの償却方法及び償却期間 のれんの償却については、その効果の発現する期間を個別に見積り、その見積り期間に応じて均等償却しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日又は決済日をもって決済処理しておりません。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	4,020千円	6,036千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、当第1四半期連結累計期間において第2回無担保転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使に伴い、87,000株の株式が増加しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ34,713千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が2,671,015千円、資本剰余金が1,703,395千円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	診断・試薬 事業	遺伝子組換え カイコ事業	検査事業	化粧品関連 事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	135,086	3,725	30,935	2,033	171,780		171,780
セグメント間の 内部売上高又は振替高	349	165	412		926	926	
計	135,435	3,890	31,347	2,033	172,706	926	171,780
セグメント利益又は損失 ( )	15,795	48,136	1,140	2,729	36,211	240	35,971

(注)1. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額240千円には、セグメント間取引消去240千円が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	診断・試薬 事業	遺伝子組換え カイコ事業	検査事業	化粧品関連 事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	87,783	6,090	17,450	1,998	113,323		113,323
セグメント間の 内部売上高又は振替高	218		510		729	729	
計	88,002	6,090	17,960	1,998	114,052	729	113,323
セグメント損失( )	19,467	74,723	5,804	4,724	104,720	240	104,480

(注)1. セグメント損失は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. セグメント損失の調整額240千円には、セグメント間取引消去240千円が含まれております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純損失( )	5円31銭	14円28銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失( ) (千円)	44,717	124,603
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失( ) (千円)	44,717	124,603
普通株式の期中平均株式数(株)	8,408,443	8,723,460

(注)前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月14日

株式会社免疫生物研究所  
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	桂	川	修	一	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	吉	田	英	志	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社免疫生物研究所の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社免疫生物研究所及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。